

かるたの遊びかた

一 やりかた

絵ふだを取りふだとし、字ふだを読みふだとします。読み手が字ふだを読み、二組でしようぶをします。一組は三人とします。

二 じゅんぴ

- (1) 三人が一れつになり、二組がむかいあつてならびます。はばは、やくニメートルとします。
- (2) まん中のひとがじゃんけんをし、勝ったほうを取りふだをよくきつて、二十二まいずつ前におき、まけたほうが先に、どちらかをとります。
- (3) じぶんたちの前に二れつにならべます。あいでのあいだは三センチはなし、ひざと取りふだのあいだは、十五センチよりはなします。
- (4) 読み手は、二組を前にしてすわり、読みふだをよくきつて、**よ**を一ばん上におきます。

三 はじまり

- (1) まず読み手が、**よ**をからふだとして二かい読み、三かじめに読むふだから取ります。そのあとは、いま取ったふだをからふだとして一かい読み、次に読んだふだから取ります。
- (2) ふだを読み終わるまで、りよう手はひぎの上

におきます。ふだをとるときは、かた手だけ使つて、おさえるか、はじくかします。

- (3) 読みふだでないものをついたら、「お手つき」として、ついたふだを一まい、あいてにわたします。(二、三人ついても、わたすのは一まい)
- (4) 同じふだに二、三人の手がかさなったら、「あいこ」といつて、一ばん下のひとが取ります。(はつきりしないときは、持ちふだのひとに)
- (5) しい中は、ふだを動かさないこと。取りふだのこり二まいになったら、まん中に三十七センチはなして横にならべ、それぞれの組のまん中のひとが、だいひようしてしようぶします。

四 さい点

- (1) とく点は一まい一点、**よ**だけ三点とします。
- (2) **よ****い****か****る****た**を役ふだとし、同点のときは、役ふだの多いほうを勝ちとします。

五 その他

- (1) 取ったひとが、うらのせつめい文を声をあげて読めば、みんなのりかいが深まります。
- (2) ときには、せつめい文を読みふだとしてよみ、字ふだを取りふだとして遊ぶこともできます。
- (3) かぞくや友だちが、バラバラにおいた取りふだをかこんで取るのも、おもしろいでしょう。
- (4) しいの前とあとには、おたがいに礼をかわしましょう。